

LIBRARY



今週後半から、期末テストという間の悪いときに出してごめんなさい。月1回のペースで出しているため、6月号が今になりました。購入希望アンケート、よろしくお願ひします。試験が終わったら、ゆっくり読書も楽しんでくださ〜い。

『レジェンドアニメ』 辻村深月著 マガジンハウス 2022



アニメ業界で奮闘する人々の姿を描いた『ハケンアニメ!』が、吉岡里穂・中村倫也主演の映画となり、目下上映中ですね。こちらは、『ハケンアニメ!』の登場人物たちの過去や未来を描いたスピンオフ作品集です。全部で6つの短編が入っていますが、どれもアニメへの愛が溢れています。(著者の辻村さんは、ドラえもん愛で有名ですね。) まずは本編読んでからがいいかな。

『階段ランナー』 吉野万里子著 徳間書店 2022



母の起こした事件がきっかけで、水泳選手の夢をあきらめた奥貫広夢と、卓球の全日本選手権を前に体の不調に苦しむ三上瑠衣は、ある日学校の階段で出会う。その先にいたのは、まもなく退職する高桑曜太郎、通称タクワン先生。退職の理由は高齢の母が大腿骨を骨折し、実家の塾を継ぐためと、二人は知る。タクワン先生、実は無類の階段好き。タクワン先生の階段ブログを読むうちに、二人は階段の魅力に引き込まれ、新たな青春の日々を過ごすことに!

『マイクロスパイアンサンプル』 伊坂幸太郎 幻冬舎



エージェント・ハルトは、秘密諜報部員。ある日、いじめっ子に追われ、帰る場所もないぼくを、帰還するグライダーに乗せてくれた。が、エンジンがないグライダーは、自力で飛べない。同じ時間軸でもう一つの物語が進行する。「松島君って、エンジン積んでないよね」、それが原因なのか、彼女に振られてしまったぼくは、ショックのあまり、車を飛ばす。気づけば猪苗代湖に。そこで拾ったグライダーを思いっきり飛ばした。この二つの物語が、いったいどこでどう交錯していくのか…。それは読んでのお楽しみ!

『パープルハイビスカス』 C.N. ディアーチェ著 河出書房新社



ナイジェリア人の少女カンビリは裕福な家庭の中学生。貧しい家庭に生まれた父は、宣教師のもとで学問を学び、事業で大きな成功を収めた。以来、厳格なクリスチャンとして生きる。父の意に添わぬことをした日には、カンビリも、その兄のジャジャにも容赦ない体罰がくだされる。父の顔色だけを見ながら優等生の人生を生きてきた兄妹が、自分たちのこれまでの暮らしに疑問をいだいたのは、父の妹で大学講師のイフェルマおばさんに、スッカの自宅に招かれたことがきっかけだった。キリスト教に改宗しようとする祖父、パパ・ンクウとは口も利かない父と違い、イフェルマおばさんは体の弱った祖父を自宅に引き取る。議論好きないとこのアマカ、美声の持ち主である若き神父アマディらとの出会いは、カンビリを少しずつ変えていくのだが…。今や、アフリカ文学の旗手ともいえる著者のデビュー長編が、やっと翻訳されました。

『サバの缶詰、宇宙に行く』 熊谷はるか著 河出書房新社



2020年11月27日、国際宇宙ステーションで野口聡一宇宙飛行士が、「サバ缶」を美味しく食べる動画がYoutubeに投稿された。14年越しのチャレンジが実を結んだ瞬間だった。宇宙日本食サバ缶の開発は2006年、福井県立小浜水産高校(通称「浜水」)で始まる。ところが、2013年、地域のトップ進学校若狭高校と統合、若狭高校海洋科学科となる。当時は職業系で教育困難校だった浜水との統合は地元でも大論争だったとか。が、夢の実現を静かに支えたのが、2001年、浜水に赴任した23歳の小坂康之先生。水産高校の教師になりたいくて、神奈川から見知らぬ福井にやってきた小坂先生の、苦しかったけれど楽しかったという20年を読んでみませんか?

『エーリッヒ・ケストナー』 クラウス・コルドン著 偕成社 2022



ドイツでヒトラーが政権を握ったときに、ナチスの台頭を不快に感じる作家の多くは他国に亡命、残った作家は、当時の政権に迎合するか、筆を折るしかないなかで、ケストナーはドイツに留まることを選び、身に危険を感じながら、執筆を続けた。戦時中、彼の書くものは、もうドイツでは出版できず、チューリッヒで出されている。この本は、『ベルリン三部作』で知られるクラウス・コルドンが、若い人向けに書いたケストナーの伝記だ。今回偕成社から、ルビ付きでくださったのは、次の世代の若い人に、ケストナーの生涯を伝えたかったからに他ならない。『エーミールと探偵たち』『飛ぶ教室』『ふたりのロッテ』とともに。

『一人で思う、二人で語る、みんなで考える』 岩波ジュニア新書



副題は、実践ロジコメ・メソッド。ロジコメとは、ロジカルコミュニケーション・メソッドの略で、話したいこと、わかってもらいたいことを論理的に整理して、筋道を立て、相手に理解しやすいように伝えることを意味します。つまりそのコツをまとめた一冊なのですが、まずはグループワークを楽しむコツです。ひとりならつぶやき、ふたりなら意見、3人なら提言。何も考えないでグループワークに臨むのではなくて、自分の意見を持って参加すると、がぜん楽しくなるのかもですよ。書名の意味もそこにあるのかな。

『ほしいのは「つかれない家族」』 ハラユキ 講談社 2020



図書館で2年生は「住まいと住まい方」について学習をしていましたが、その時に用意した本の中から、75回生にいちばん多く気になる本として選ばれました。住まいは、建物としてのハード面と、中に暮らす人というソフト面が、相互に絡み、「我が家」が出来上がるように思いますが、その際、求めるのはきっと、素の自分でお互いに居ることなのかもしれません。我儘に暮らすとも違うんですね。

『K-POPはなぜ世界を熱くするのか』 田中絵里菜 朝日出版社



テーマ研で、「K-POP」を選ぶ人が必ずいる時代。音楽に限らず、小説や映画も、韓国は世界に撃って出る時代。この本によれば、韓国人は自分たちの性格を「パリパリ精神」と表現するそう。市場が小さいゆえ、常に大きな市場に目を向け、そこにあわせて変わり続ける韓国。ちなみにバリバリとは「早く早く」という意味です。

6月に入った本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

No.	請求	書名 I	著者名 I	出版者	出版年
038350	0150	才能を引き出した情報空間	岡部晋典	勉誠出版	2017/08
038308	018I	石井桃子コレクション	石井桃子	岩波書店	2015/03
038407	104I	絶望を生きる哲学	池田晶子 著	講談社	2017/05
038410	150T	道徳教室	高橋秀実	ポプラ社	2022/03
038408	159M	僕たちはどう生きるか	森田真生	集英社	2021/09
038374	210G	応仁の乱	呉座勇一	中央公論新社	2016/10
038400	360K	ソーシャルデザイン実践ガイド	寛裕介	英治出版	2013/09
038401	361A	ネイバーフッドデザイン	荒昌史	英治出版	2022/04
038378	361H	地域・都市の社会学	平井太郎他	有斐閣	2022/04
038372	361M	協力のテクノロジー	松原明他	学芸出版社	2022/04
038371	3610	わたしをつくるまちづくり	尾野寛明他	コールサック	2021/10
038380	361Y	コミュニティデザインの時代	山崎亮	中央公論新社	2012/09
038339	3690	地域子ども家庭支援の新たなかたち	小木曾宏編著	生活書院	2020/03
038340	369T	ひとりで暮らす、ひとりを支える	高橋絵里香	青土社	2019/04
038373	369Y	ケアするまちのデザイン	山崎亮 編集	医学書院	2019/04
038370	3820	庶民の日本史	小名木善行	グッドブックス	2021/11
038348	491T	ずかんウイルス	武村政春 監修	技術評論社	2020/10
038381	518S	ソフトシティ	D・シム	鹿島出版会	2021/10
038358	590T	87歳、古い団地で楽しむひとりの暮らし	多良美智子 著	すばる舎	2022/03
038375	599H	困難な子育て	堀埜浩二	ブリコロール	2019/05
038377	601S	SDGsを活かす地域づくり	白井信雄 編著	晃洋書房	2022/04
038343	726K	「キャラクター」のデザイン&描き方	くるみつ 著	ホビージャパン	2021/09
038402	756R	図解日本刀事典	歴史群像編集	ワッパブリッシング	2021/11
038369	767T	K-POPはなぜ世界を熱くするのか	田中絵里菜	朝日出版社	2021/04
038404	913A	この仮面の悪魔に相談を！	暁なつめ	角川スニーカー	
038392	913A2	レジェンドアニメ！	辻村深月	マガジンハウス	2022/03
038395	913I	マイクロスパイ・アンサンブル	伊坂幸太郎	幻冬舎	2022/04
038391	913Mo	余命99日の僕が、死の見える君と出会った話	森田碧	ポプラ社	2022/01
038398	913Ta	青春サプリ。		ポプラ社	2022/02
038406	913Yo	階段ランナー	吉野万理子 著	徳間書店	2022/01
038361	914K	たましいのふたりごと	川上未映子	筑摩書房	2015/12
038366	921I	漢詩鑑賞事典	石川忠久 編	講談社	2009/03
038360	932M	すべての季節のシェイクスピア	松岡和子	筑摩書房	2022/04
038382	932S	ハムレット シェイクスピア全集 1	松岡和子訳	筑摩書房	

シェイクスピア全集は、全33巻を文庫本で入れました。

【図書委員会より】

現在、teams上で、図書の購入アンケートを実施しています。7月7日に、図書委員会で紀伊國屋書店に本の選定に行ってきます。その時に、各学年の図書委員が、みなさんの希望をもとに本を選ぶ予定です。ぜひ図書館に入れてほしい本がある人は書いてくださいね。もちろん、図書館では常時希望を受け付けています。カウンター前に「リクエストbox」が設置されていますので、利用してください。尚、リクエストされた本がすべて入るわけではありませんが、できるだけ皆さんの希望に添えるようにしたいと思っています。

【電子図書館新着案内】

岩波ジュニア新書50冊のセットがよめるようになりました。「新書」とは、新書判(105×173mm)のサイズの本のことを指します。文庫サイズよりちょっと大きくて細長いタイプの本が、新書です。様々な専門分野の入門書として刊行されることが多く、特にジュニア新書は中高生を意識して書かれた新書なんですよ。

こんなことやってます！



75回生 家庭科「よりよい住まい方を考える」



4～5人の模擬家族(マイファミリー)の理想の家を作る過程で、「住まい」や「住まい方」について考える家庭科の授業を5月から図書館で行ってきました。6/1の公開研究会では、2年D組が、マイホームクラウドというアプリを使って作った家を見てもらいながら、どこにどんな工夫を凝らしたのかを発表しました。2年生の皆さん、これまでの「暮らしかた」を、みつめ直す機会になりましたか？

東京学芸大学4年生が
毎週ボランティアに！



6/13から、毎週月曜日の午後、東京学芸大学4年生の岩田京佳さんが、図書館に来ています。将来学校図書館で働いてみたいと思っているそうです。見かけたら気軽に声をかけてみてくださいね。カウンター前の展示コーナーに、「イギリスの歴史をたどる本」も岩田さんに作っていただきました。7/7の本の買い出しも、一緒にきてくださるそうです。大学生目線で、中学生に薦める本を選んでもらいたいなと思っています。